

➤ 基礎処理工を開始しました

基礎処理工とは、岩盤を削孔してセメントミルクを注入する作業です。

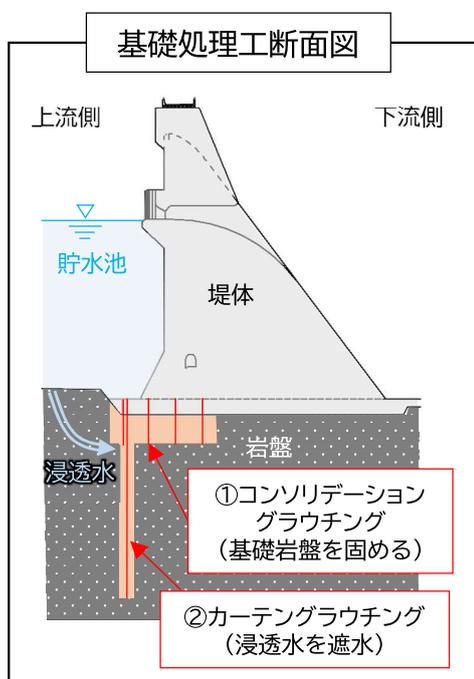
目的に応じて①コンソリデーショングラウチングと②カーテングラウチングを実施しています。

①コンソリデーショングラウチング

ダム基礎岩盤を強固にするため、岩盤上面から約5mの深さまでセメントミルクで改良します。また、基礎岩盤の浅い部分の遮水効果も発揮します。

②カーテングラウチング

貯水池から岩盤を伝わってくる浸透水を遮水するため、セメントミルクでカーテン状に改良し、水を通さない地中の壁を形成します。



基礎処理工作業状況 (Foundation treatment work status)



ダム堤体の上からボーリングマシンで岩盤を削孔しています

かわら版

福井県吉野瀬川ダム建設事務所

令和5年9月15日
第8号

発行者

吉野瀬川ダム建設事務所
〒915-0872

越前市広瀬町113-5

☎(0778)21-0020

【お問い合わせは上記へ】



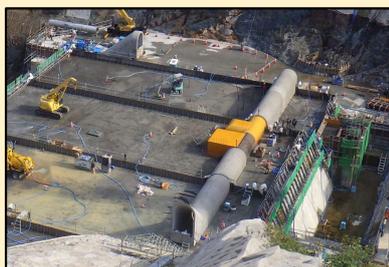
マスコットキャラクター
「土木版はぴりゅう」

➤ 堤体の中に埋め込んでいるものは！？ ～PART1～

ダム堤体の中は、全てコンクリートで詰まっているわけではありません。ダム完成後の管理に必要な施設・設備を埋設していきます。今回は、監査廊と放流管について紹介します。

< 監査廊 >

ダム完成後に各種計測機器で測定等を行うため、堤体内部に設けられる管理用通路です。



< 放流管 >

ダム完成後、河川維持のため一定の水を放流する設備です。貯水池の水位が低い時でも放流することができます。



📷 工事の状況について

ダム堤体工事は、8月末現在でコンクリートを約18,000m³打設しました。(全体の約13%)
引き続きコンクリート打設を行い、堤体内の施設・設備設置や基礎処理工も順次行っていきます。

ダム本体工事の状況(下流から上流方向を望む)

令和5年8月末



堤体打設(夜間)



堤体コンクリートの品質確保のため暑い日中を避けて打設しています



ダム本体工事JVだより

◆堤体コンクリートの夜間打設について

現在夜間に実施していますダム本体のコンクリート打設作業は、作業人員は20名弱で従事しています。基本的に1週間で職員・作業員とも昼夜勤務を交替しています。打設作業のうち人力による締固め作業は、重さ40kg程度のバイブレータを使用するため重労働になります。そのため、この夏は強烈な日差しがない夜間作業で実施したため、作業員は非常に助かっているとのことです。



人カバイブレータによるコンクリート締固め作業

文・写真:安藤ハザマ・建世・清水組・谷口建設JV



福井県吉野瀬川ダム建設事務所ホームページ

ホームページQRコード

<https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/yosidam/>

【かわら版のバックナンバーは、事務所ホームページで公開します】

ダム建設事業の詳しい情報は、YouTubeやTwitterでも発信しています。

チェックしてみてください！

吉野瀬川ダム YouTube

検索

吉野瀬川ダム Twitter

検索

